

# 姉妹都市「しろいし」で

## 宿泊割引～湯けむり交流支援事業～



田中 裕子氏

# 教育委員に田中氏任命

12月13日、市長は市議会の同意を得て田中裕子氏(中新田在住・52歳)を教育委員に任命しました。任期は平成21年12月12日までの4

年間。公募による教育委員は2人目です。

市では教育委員会の一層の活性化と21世紀の海老名市の教育の基礎を築くため、平成16年に公募制を導入。さまざまな分野で活躍し、豊かな見識と柔軟な発想を持つ市民を教育委員として選任するものです。

今回の公募には16人の応募があり、選考委員会が第1次審査(書類選考)、第2次審査(面接)を行い、田中氏を推薦しました。

田中裕子氏(たなか・ひろこ) 河原口出身、東京女子大学卒。出版社勤務を経て、福祉や子ども活動に関するNPO団体に所属。文書法制課。

白石・海老名友好親善交流協会では、「海老名市湯けむり交流支援事業」を実施しています。これは、市民レベルでの姉妹都市交流を進めるため、市民の方が姉妹都市・白石市内の温泉旅館(小原温泉・鎌先温泉)に宿泊する宿泊料の一部を助成するものです。

▽対象 市内在住の方  
▽助成金額 1泊につき大人(中学生以上) 3000円・子ども(4歳～小学生) 1000円 ※「湯けむり

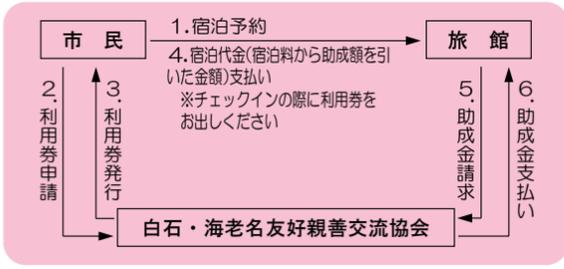
交流利用券」を発行。利用は年度内2泊まで。  
申 提携温泉旅館(左下表)に直接予約(旅行代理店での申し込みでは利用できません)後、同協会事務局で助成申請してください。申請は家族等宿泊グループごとで、全員の住所・氏名・生年月日・代表者の電話番号を記入。「湯けむり交流利用券」は、チェックインの際に提出してください。

同協会事務局(市長室政策担当)。



小原温泉

### 湯けむり助成制度



### 【提携先温泉旅館】

#### ◆小原温泉

旅館名	住所	☎
旅館かつらや	白石市小原 字湯元23	0224・29・2121
ホテルいづみや	白石市小原 字湯元9	0224・29・2221
旅館やくせん	白石市小原 字八幡前19-1	0224・29・2620
旅館しんゆ	白石市小原 字新湯5-3	0224・29・2321

#### ◆鎌先温泉

旅館名	住所	☎
一條旅館	白石市福岡蔵本 字鎌先1-48	0224・26・2151
木村屋旅館	白石市福岡蔵本 字鎌先1-51	0224・26・2161
最上屋旅館	白石市福岡蔵本 字鎌先1-38	0224・26・2131
すゞきや旅館	白石市福岡蔵本 字鎌先1-35	0224・26・3111
みちのく庵	白石市福岡蔵本 字狐峯3-4-5	0224・26・2111



鎌先温泉

便利です! 「えびな安全・安心メールサービス」  
登録は ebn-i@posh.jp あて空メールを送信。詳しくは、市ホームページ又は市生活安全課へ

# 都市ブランド「フィールド」

## フォーラムへご参加ください

市では、みなさんに海老名市に愛着と誇りを持って、住みたい・住み続けたいと感じてもらうため、海老名らしさを追求した都市ブランドについて研究し、各種施策への展開を検討しています。

都市ブランド「フィールド」とは、自己実現ができるまち海老名の「場・空間・可能性」を示す言葉として市職員で組織する都市ブランド開発研究会が考えたものです。

今回、都市ブランド「フィールド」によるまちづくりの推進に向け、市民のみなさんに考え方や必要性などをお知らせし、一緒に考えていくためのフォーラムを開催します。ぜひご参加ください。

日時 1月18日(水) 午後2時～4時  
会場 市役所40会議室  
内容 ▼基調講演(講師) 榎博報堂・木下富美子氏 ▼研究発表(都市ブランド開発研究会) パネルディスカッション  
(パネリスト) 府中市役所職員・矢ヶ崎幸夫氏、(社)海老名青年会議所・橋場友一氏、都市ブランド開発研究会・山崎日出雄氏、内野優市長  
▽定員 150人(定員になり次第締め切り)  
参加費 無料。  
参加を希望される方は、事前に直接または電話で企画経営課へ。なお手話通訳・託児を希望する方は1月10日(火)までに直接または電話で同課へ。

# 環境に配慮した自動車使用を

自動車の排出ガスには、窒素酸化物や一酸化炭素、粒子状物質などの大気汚染物質が含まれています。特に冬季は、上空の冷たい空気の層が排出ガスを閉じ込めるため、大気汚染が著しくなります。

また、自動車は燃料の燃焼やカーエアコンの使用などで地球温暖化の原因物質である二酸化炭素等の温室効果ガスも排出します。

この排出量は、全国の一家庭が1年間に排出する量の約3分の1に相当し、環境に大きな負荷を与えています。

現代社会で自動車を使用しない生活は考えられませんが、乗り方を見直せば、環境負荷は低減できます。

無駄な燃料の消費・燃焼を抑え、環境に配慮した自動車の使い方・乗り方を考えてみましょう。

環境保全課環境政策担当

徒歩・自転車の利用 ◆排出ガス・温室効果ガスの低減には、車に乗らないことが一番です。運動不足の解消、健康維持の観点からも、近距離であれば、徒歩や自転車で行きましょう  
公共交通機関の利用 ◆外出時はできるだけ、電車・バスなど公共交通機関を利用しましょう  
アイドリングストップ ◆駐車するときは、エンジンを切りましょう  
暖機運転はしない ◆エンジンをかけたら、すぐに出発しましょう  
急発進・急加速はしない ◆交通の流れに合わせ、急発進や急加速はやめましょう  
不要な荷物は降ろしておく ◆車を物置代わりにしていませんか。トランクや室内をチェックして、不要な荷物は降ろしておきましょう。積載量は燃費に大きく影響します  
相乗りで使用台数削減 ◆友人や隣近所など、相乗りできるときは相乗りしましょう。輸送効率を高めることができるとともにコミュニケーションも深められます  
日常点検 ◆タイヤの空気圧不足やエンジンオイルの汚れなどは、燃費を低下させる原因となりますので、日ごろからチェックしておきましょう  
低公害車の導入 ◆車を購入するときは、できるだけハイブリッド自動車や低排出ガス自動車などの低公害車を選びましょう